

香川県教育委員会 2月定例会会議録

1. 開催日時 令和3年2月9日(火)
開 会 午前 9時00分
閉 会 午前10時34分
2. 開催場所 教育委員室
3. 教育委員会出席者の氏名
教育長 工 代 祐 司
委 員 小 坂 真 智 子
委 員 平 野 美 紀
委 員 槇 田 實
委 員 藤 澤 茜
委 員 木 下 敬 三
4. 教育長及び委員以外の出席者
副教育長 小 川 秀 樹
教育次長兼政策調整監 井 元 多 恵
教育次長 小 柳 和 代
総務課長 白 井 道 代
義務教育課長 原 田 智
高校教育課長 金 子 達 雄
特別支援教育課 北 村 宏 美
保健体育課長 官 滝 寛 己
生涯学習・文化財課長 渡 邊 智 子
政策主幹兼総務課副課長 福 家 啓 充
義務教育課副課長 増 田 昭 宏
義務教育課長補佐 西 部 克 彦
義務教育課長補佐 高 尾 明 博
高校教育課長補佐 小 山 圭 二
総務課副主幹 柳 澤 紀 子
義務教育課主任管理主事 川 上 り 彩
義務教育課主任指導主事 藤 崎 裕 子
高校教育課主任指導主事 亀 田 龍 輔
特別支援教育課主任指導主事 鳥 井 口 隆

総務課主任	中 村 慎 一
義務教育課主任	柳 敏 樹
高校教育課主任	三 谷 進
高校教育課指導主事	水 野 伸 吾

傍聴人 なし

5. 会議録の承認

1月定例会の会議録署名委員の榎田委員から、同定例会の会議録について適正に記載されている旨報告。

各委員に諮り、これを承認した。

6. 非公開案件の決定

教育長から、本日の議題のうち、議案第1号及びその他事項1は、教育委員会において会議を公開しないことと定めているもののうち、「県の機関の内部における審議、検討又は協議に関する情報であって、率直な意見の交換若しくは意思決定の中立性が不当に損なわれるおそれがあるもの」に、また、議案第2号は、「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあるもの」に、議案第3号は、「個人に関する情報であって、公にすることにより、なお、個人の権利利益を害するおそれがあること」及び「県の機関が行う事務に関する情報であって、公にすることにより人事管理に係る事務に関し、公正かつ円滑な人事の確保に支障を及ぼすおそれがあるもの」にそれぞれ該当するため、非公開としたい旨を発議。

各委員に諮り、非公開とすることに決した。

7. 議 案

○議案第1号 令和3年2月香川県議会定例会に提案される教育委員会関係議案に対する意見について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第2号 優秀な児童及び生徒に対する表彰について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

○議案第3号 教職員の懲戒処分について（非公開案件）

各委員に諮り、原案のとおり可決した。

8. その他事項

○その他事項1 令和3年2月香川県議会定例会に提案される教育委員会関係議案（追加提案分）に対する意見について（非公開案件）

○その他事項2 令和3年3月香川県公立高等学校卒業予定者の就職内定状況について

高校教育課長から、令和3年3月の香川県公立高等学校及び県立特別支援学校の卒業予定者の就職内定状況について説明。

【質疑・意見交換】

<木下委員>今年度の公立高校の卒業予定者数が6,412人で、そのうち就職希望者が1,088人とのことだが、それ以外の生徒は全員が進学するのか。

<高校教育課長>専門学校も含めて、全員進学する。

<小坂委員>特別支援学校についても、就職内定率が例年と比較して高いが、何か理由があるのか。

<特別支援教育課職員>特別支援学校については、10月から11月にかけて現場実習で企業等に行くことが多く、その様子を見て就職が決まることが多い。例年の10月末時点の調査は、まだ実習中であるため内定率が低くなっているが、今年度の調査は11月末時点で実習も終了しており、企業等から内々定が得られているため内定率が高くなっている。調査の時点が例年より遅くなっていることが、内定率が高くなっている要因だと考えているが、今年度については就職希望者に就職先となる企業等の実態に合った者が多くいたということもあると思う。

<榎田委員>特別支援学校の今年度の就職希望者数は33人であるが、例年このくらいの人数なのか。

<特別支援教育課職員>今年度の就職希望者数は例年より若干少ないように思うが、就職希望者数はその年度の生徒の障害の状況によっても上下する。

<小坂委員>現場実習が就職の決め手になっているように思うが、現場実習は年間で何回ぐらい行っているのか。

<特別支援教育課職員>学校によって違うが、高校2年と3年でそれぞれ2回行っている学校が多い。ただし、今年度はコロナ禍の影響で、高校2年生の現場実習が例年の2回から1回に減らされている。

<教育長>現段階で今年度の結果はまだ確定はしていないと思うが、県内就職と県外就職の割合が、ここ数年の傾向として県外就職の率が若干ではあるが高くなっていないか。

<高校教育課職員>少しずつ高くなっている。

<教育長>何か原因はあるのか。

<高校教育課職員>学校に聞いたところ、以前から県外の全国的な有名企業の求人が複数来ており、県外就職の率が高くなる要因となっているようである。今

年度は、コロナ禍の影響でそのような県外企業からの求人はなくなるのではないかと考えていたところ、募集人数を減らして求人があり、その企業に就職する生徒はいる状況である。

○その他事項3 令和3年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について

高校教育課長から、令和3年度香川県立高松北中学校入学者選抜の実施状況について説明。

【質疑・意見交換】

<平野委員>全国からの生徒募集は、このまま継続して募集していくということではよいか。

<高校教育課長>校長は中学校についても高校と同様に、県外の自宅から通学してくる生徒だけでなく、生徒だけが転住してくるパターンも含めて受入れ態勢を検討したいという意向と聞いている。

<教育長>公立高校の自己推薦選抜では、全国からの生徒募集の志願者は何人だったのか。

<高校教育課長>18人が受検している。本日、自己推薦選抜の合格者発表であったが、18人のうち14人が合格している。来月には一般選抜が行われるが、これまでに25件から30件程度の問い合わせが来ており、再度一般選抜で受検する生徒や一般選抜のみで受検する生徒もいるのではないかと考えている。